

平成 27 年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 京都府

【学校名】 井手町立泉ヶ丘中学校

実践1

【目標・ねらい】

各国の料理及び我が国の伝統的な料理を給食で提供するとともに、給食時間の放送や掲示物の展示等により、オリンピック・パラリンピックが開催された国々の食文化を知る。

【実践の内容】

- ・ 12月初旬の1週間、各教室で6つの国の資料（国旗・人口・首都・言語 食文化・スポーツ等）を掲示し、アンケートにより、給食週間（1月24日～30日）で提供する献立を決定。
- ・ 本年度は、中国・イタリア・日本・メキシコ・スペインの献立で実施。
- ・ オリパラ給食に関連した話を、町内小学校の朝礼で栄養職員が実施。
- ・ 放送委員会の児童生徒による給食時の放送の実施。

【実践の成果】

児童・生徒の感想より

- ・ スペイン料理が一番おいしかった。世界の給食が好きになりました。
- ・ 世界の料理をもっと食べたいし、もっと世界の料理を知りたい。
- ・ 世界の料理もおいしいけど、和食が一番だと思います。世界にも和食を知ってほしい。

実践2

【目標・ねらい】

オリンピック・パラリンピックに関する掲示を通して、スポーツへの関心を高め、運動に親しみ自ら進んでスポーツに取り組む意識を育てる。

【実践の内容】

- ・ オリンピック・パラリンピックの掲示板の設置
- ・ オリンピック・パラリンピックの歴史や実施種目・開催国についての資料の掲示
- ・ 身近なオリンピア・パラリンピアの紹介コーナーの設置

【実践の成果】

- ・ 掲示により、オリンピック・パラリンピックに関する関心を高めることができた。
- ・ 身近なオリンピアン・パラリンピアンを知ることから、競技に関する関心が高まった。
- ・ オリンピック・パラリンピックの歴史について学ぶことができた。

実践3

【目標・ねらい】

泉ヶ丘中学校国際交流・海外派遣事業を通して、外国のスポーツ・文化についての理解を深めるとともに、おもてなしの心を育成する。

【実践の内容】

- ・ 代表派遣生徒による海外派遣報告会で、オーストラリアのスポーツや文化について学習した。
- ・ 全校生徒で、姉妹校であるオールセント・カレッジ・セント・ジョセフキャンパスの生徒に向けて NEW YEAR カードを作成し送付した。

【実践の成果】

- ・ お互いの文化の違いについて、学習することができた。
- ・ とても多くの生徒が、オーストラリアへの関心を高め、次年度「おもてなしの心」を持って留学生を迎えようとしている。
- ・ 生徒だけでなくホームステイの受け入れで協力していただける意向の家庭も増加した。

実践4

【目標・ねらい】

- ・ オリンピアンとの出会いの中で、さあやってみようという「スポーツごころ」を育てる。
- ・ 一流の指導の中で、自身の記録に挑戦することによって、自信・希望を持って何事にも積極的にチャレンジできる心情を育てる。
- ・ オリンピアンの競技歴とその偉業を紹介し、生徒がマラソン大会に積極的に取り組めるよう意欲の高揚を図った。

【実践の内容】

- ① 事前アンケート

生徒自身の200mの記録と、オリンピックの記録との比較

- ② オリンピアンとの出会い（志水見千子氏）
ストレッチ、激励、応援、大会参加
- ③ 事後指導（体育指導）

【実践の成果】

- ・ 当日は、最終ランナーを仲間が出迎え、マラソン大会参加生徒全員が目標時間内に走りきることができた。
- ・ 息一つ乱さずに走るオリンピックの姿を間近にし、オリンピックのすごさを実感することができた。